



はんだ地震防災憲章 ～半田市民の心得として～

半田市は、かつて昭和東南海地震や三河地震に見舞われ、多くの方が犠牲になりました。

大地震は必ずやってきます。その時、行政からの支援はすぐには届きません。

私たち半田市民はそれぞれが持つ市民力を発揮し、一人ひとりの備えと地域の絆で大地震を乗り越えるため、ここに憲章を定めます。

私は自分に問いかける。地震への備えは十分だろうか。

穏やかな日常を一瞬にして破壊する大地震。

明日かも知れないし、今日かもしれない。

私は考える。地震が起きたらどう行動しようか。

自分で自分を守れない人がいる。私は、周りの大切な人たちの命を守りたい。

私は自分に言い聞かせる。周りのために出来ることが必ずある。

不安な避難生活。みんなが少しずつ我慢し、力を合せば必ず乗り越えられる。

私は次の世代に伝える。家庭の備えと地域とのかかわりの大切さを。

大地震の被災地から多くのことを学んだ。

大地震から命を守り、困難を乗り越えるのは私たち自身。



昭和19年 昭和東南海地震(半田市)



平成28年 熊本地震